

「Fukuoka Art Next」今月のアート（5月）

福岡市は、彩りにあふれたアートのまちを目指して、暮らしのなかで身近にアートに触れる機会を増やし、アーティストの成長支援に取り組む「Fukuoka Art Next」を推進します。

市民がアートを身近に感じられるよう、福岡で活躍しているアーティストの作品を、月初めの定例会見において紹介します。

■ アーティストについて

遠山裕崇（とおやま ひろたか）

1977年鹿児島県生まれ、福岡市在住、2003年九州芸術工科大学卒業後、福岡を中心に活動をおこなっているアーティストで、「VOCA展2008」（上野の森美術館）、「21世紀の作家-福岡 bis 2009」（福岡市美術館）など、多くの出品歴があります。

古来より美の象徴として描かれてきた「花」、特に誰もが知るバラや桜などを、自身が撮影した写真を元に、精密に描くアーティストです。生命感あふれる美しさとは対照的な、不自然なまでに美しいその作品は、本当の美しさとは何かを問いかけます。

■ 作品について



作家名：遠山裕崇
作品名：不在
制作年：2021年
技法、素材：油彩・パネル
サイズ：53×53cm

3つに枝分かれしたバラの花枝が描かれた本作は、2021年Fukuoka Wall Art賞の入賞作品です。美しく咲いた花と蕾の間に、切られた枝があります。作家は、そこにはないものを中心に配置することで、観る者の想像力を引き出すことを試みます。

【お問い合わせ先】

経済観光文化局美術館学芸課

担当：岩永、山木

TEL：714-6054、FAX：714-6145

e-mail：yamaki@fukuoka-art-museum.jp